

* 災害発生の場合、速やかに電話・メール等により(口頭)報告
 * 災害発生後、翌日中に「事故・災害・事件報告書」(第1報)にて報告
 * 災害発生後、1ヶ月以内に本様式(第2報)にて詳細報告

社長	常務	安全環境部		総務部		事故発生箇所	
部長	課長	部長	課長	部長	課長	責任者	担当者
大和田	田中	松本	小柳	伊藤	大橋	三津堂	後援

社員・協力会社 死亡・休業(不休業) 災害報告書(第2報)

2020年2月5日

発生会社名		事業所名		発生場所				会社名		有明機電工業株式会社	
成和機工機		シグマパワー三川発電所		シグマパワー三川発電所純粋廃液槽周り				発生原因			
年(西暦)		発生年月日(曜日)時刻						(人的)			
2020年 1月 29日(水) 08時 50分頃								作業を行う場合の指示内容を忘れていた。(客先への連絡)			
被災者	所属	成和機工機		作業の種類				作業手順を無視した。			
	氏名	被災者	年令	70	性別	男	女	定常作業	点検作業	修理作業	建設工事
	勤続年数	37年		異常処理作業	突発作業	定修工事	臨時作業				
	作業経験	37年		作業の形態							
	(構内経験)	年 月		単独作業		共同作業		(物的)			
	傷病名	気道熱傷、喉頭浮腫、顔面薬傷		<発生状況図>				保護具の着装を行っていなかった。			
休業見込み	0日		発生箇所(シグマパワー三川発電所)				バルブの閉止がなされていなかった。				
災害の概要											
移設してきたスクラパーから塩酸タンクまでの配管接続作業で塩酸タンクの出入りロバルブを閉止せずにその下にある閉止フランジのボルトを3本外し、残り1本を緩めた時、塩酸が勢いよくフランジから流れ出たため慌ててフランジを元に復旧しようとしてボルトで締めた時に飛散した硫酸を被った。											
災害状況											
8:15 作業現場において、作業内容の確認及びKYを実施。(6名)											
8:30 旧給炭室(4名)と純水廃液槽(2名)に分かれて作業を開始。											
8:31 現地で有明機電工業責任者が安全に関する指示を行い、関連工事の打合せに向かった。											
8:40 作業中ジャッキが必要となり作業員1名がジャッキを取りに行き現場を離れる。											
8:50 被災者は塩酸が入った配管の閉止フランジボルトを外した後、塩酸が流れ出たために慌ててフランジを復旧しようとしてボルトを締めるときに飛散した塩酸を被った。											
8:51 被災者は成和機工の上司に連絡し、上司は有明機電工業の責任者と客先へ報告。											
8:55 被災者は客先指示で浴室を借りシャワーで体を洗浄、その後天領病院へ。											
9:20 天領病院では専門医が不在とのことで大牟田市立病院へ搬送。											
9:30 大牟田市立病院にて検査、診察。(経過観察のため入院)											
翌日 午前中に退院し、会社にて軽作業を実施。											
※客先担当者より、前日夕方の作業終了時「タンク下の閉止フランジを取り外す時は連絡すること」の指示があった。											
											
(管理的)											
具体的な作業指示を行っていなかった。(知っているだろうと思っていた)											
対策											
(人的)											
作業前のKY(ミーティング)の徹底 一人作業の禁止											
(物的)											
薬液の取り扱い時はスライダ一面、長靴、ゴム手袋、耐酸性のカップを着用する。											
(管理的)											
フランジの縁切りは客先立ち合いの遵守											
現地工事など客先、下請けとの打ち合わせを十分に行う。											
類災防止の視点											
高齢者の作業においては認知能力、記憶の能力が低下している可能性が高いため、従来とは違う作業指示のやり方、指示の時期について注意をお願いします。また、ガス、化学物質、熱水などが入っている配管などを作業する場合は飛散・流失の危険を先取りした作業計画を立ててください。											